

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 BAMBOOHATKIDS かごはら教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2025年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様をご利用を楽しみにいたり、ご家族の満足度が高い。個別支援計画に沿った支援が行えている。	ご家族、お子様のご要望や課題に沿った支援を、お子様一人ひとりに合わせたオーダーメイドで行っています。	職員間において、お子様の個別の支援におけるねらいや、活動の目的ねらいの情報共有を図り、充実した支援につなげてまいります。
2	定期的に、保護者様へ面談の機会を設け、お悩みに対するご相談や支援に対するご要望をお受けしている。また保護者様に対して丁寧な説明がなされている。	保護者よりご相談をいただいた際は、詳細を聞き取り、面談等のお時間をいただき、対応させていただいております。また、事業所の運営については、契約時等にできるだけ丁寧な説明をさせていただいております。	引き続き、保護者よりご相談をいただいた際は、詳細を聞き取り、面談等のお時間をいただき、対応いたします。また、子育てサポートや家族支援加算等の制度を利用しながら、保護者様のサポートを行ってまいります。
3	大里自立支援協議会生活部会子どもプロジェクトコア事業所として、地域支援を行っている。	熊谷市基幹相談支援センターや熊谷市障害者相談支援センター、他市内の放課後等デイサービス事業所の方々と連携を取り、熊谷市の児童発達支援、放課後等デイサービス事業所の連携強化や熊谷市内の課題抽出、サービスの質の向上等の取り組みをしています。	大里自立支援協議会熊谷市生活部会子どもプロジェクトのコア事業所として、熊谷市連絡会へも出席し、熊谷市の障害福祉の課題抽出等を行い、弊社として取り組める事柄に積極的に参画してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレや保護者様同士の交流が十分ではない	法人内事業所合同で、イベント（バザー）を実施しました。たくさんの方にご参加いただきましたが、保護者同士の交流を促進できるような会の開催が不足しています。	保護者様のご相談を積極的に受けし、お子様の困りごとと解決やご自宅での様子と関り方についての情報提供を行ってまいります。今後、ご家族同士が情報交換できる場を提供していくことで、より良い支援体制を築いていきたいと考えております。
2	SNSやニュースレター、学習記録等を通して、支援や活動の様子についてアナウンスを行っていたり、各種マニュアルを策定し、訓練を定期的に行っているが、周知がされていない。	情報発信として、HPやSNSを利用した広報活動を展開し、毎月発行するニュースレターを通じて、法人内の他事業所の取り組みをお知らせしていますが、結果として周知が不足しています。	コドモン（連絡帳アプリ）等を活用し、日頃の様子について発信がなされていることをお伝えしてまいります。ご利用の保護者様への情報発信はもちろん、同じようなお悩みをお持ちの方や、これからご利用を検討される方のお役に立てるような発信を行ってまいります。
3	支援に関する振り返り内容や全スタッフへの情報共有が不足している部分がある	スタッフ間で、支援プログラムや狙いなどが十分に共有できていない部分があり、全スタッフが狙いや目的を示し共通の理解ができるようになるとより質の高い支援を提供できると考えます。	スタッフ間でのさらなる情報共有を行い、支援プログラムや個別のねらいなどの共通した認識の元で支援を実施することで、より一層質の高い支援を提供してまいります。